



令和7年5月30日  
国土交通省関東地方整備局  
港湾空港部

## CONPAS®原則予約の試験運用を実施します

～横浜港本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）対象～

横浜港本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）において、CONPAS®の「原則予約」の試験運用を実施しますのでお知らせします。

関東地方整備局では、京浜港の国際競争力強化を図るため、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を目的としたシステムであるCONPAS®の導入を進めております。横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナルでは、令和3年3月よりCONPAS®の常時運用を開始しています。また、令和6年10月には、横浜港本牧ふ頭D1・D4・BCの各コンテナターミナルにおいて、試験運用を同時に実施しました。

今般、関係者の協力のもと、CONPAS®を活用した原則予約での常時運用を見据えて、横浜港本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）において、CONPAS®の原則予約の試験運用を実施します。

<試験運用の概要> ※詳細は別紙のとおり

日時：令和7年8月13日（水）・8月14日（木）の2日間

参加店社：横浜港本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）で搬出入する  
全ての陸運事業者

目的：予約によるトレーラー来場時間の平準化

留意事項：搬出入にはCONPAS®予約が必要となります。

初めてご利用される場合は、事前にCONPAS®の利用申請が必要です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 福本（ふくもと） 内線：5729

クルーズ振興・港湾物流企画室 専門官 岩本（いわもと） 内線：5748



# 原則予約の試験運用(本牧ふ頭BC2ゲート)

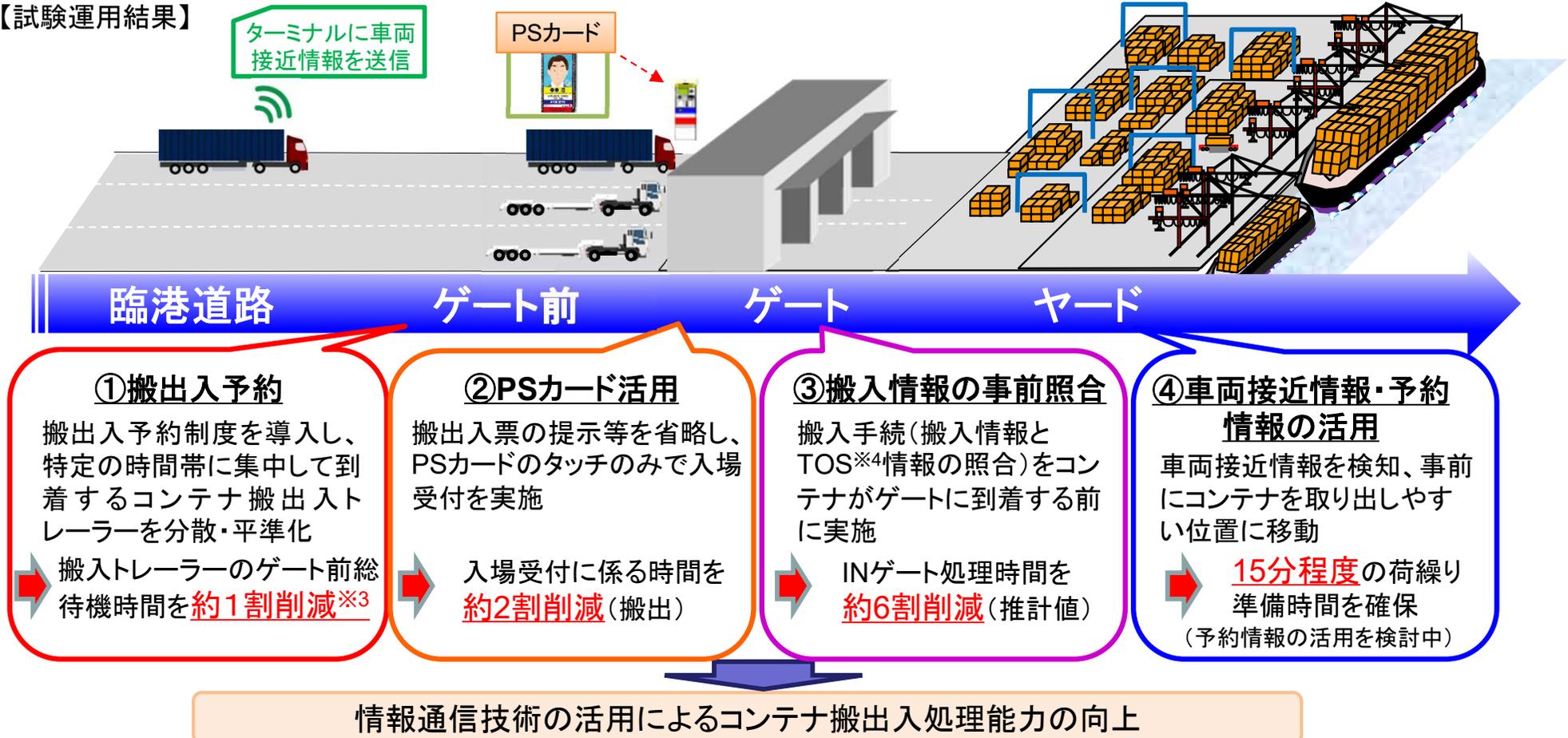
## 試験運用の概要

実施時期	令和7年8月13日(水)・14日(木)の2日間
対象コンテナ	全種別 搬出(実入・空)、搬入(実入・空) ※BC2ゲートにて搬出入受付を行う全てのコンテナ
参加店社	横浜港本牧ふ頭BCコンテナターミナル(BC2ゲート)で搬出入する全ての陸運事業者 ※BC2ゲートでの搬出入にあたってはCOMPAS <sup>®</sup> 予約が必要です
予約車動線	C突堤中央道路～BC2ゲート ※やむを得ず事前の予約取得ができない車両は、例外車両予約登録場を經由(A突堤を想定)
予約時間	全種別:8:30-11:00、13:00-16:00 ※今後の調整により変更の可能性があります
予約枠数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入(実入) : 3～4台/3分(約400台/日)</li> <li>・搬入(空) : 3～4台/3分(約400台/日)</li> <li>・搬出(実入・空) : 8～9台/3分(約900台/日)</li> </ul> ※今後の調整により変更の可能性があります
入場可能時間	予約時間枠の <u>前後30分以内</u> に予約状況確認場所へ来場
予約期限	搬出入日の3営業日前の14:00から入場可能時間終了まで
ペナルティ制度	適用対象外 ※大量予約・大量キャンセル、すっぽかしなどの不適切利用は行わないようお願いします

# CONPAS®の概要

- CONPAS®※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港において試験運用を実施。
- 横浜港で2021年3月より常時運用※2を開始。
- 東京港においても2022年8月からCONPAS®を活用したコンテナ搬出入予約制事業の取組を開始。

【試験運用結果】



※1 CONPAS: Container Fast Pass の略

※2 2021年3月より「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」の常時運用開始、2021年4月より「搬入情報の事前照合機能」の常時運用開始

※3 搬入トレーラーの14%がCONPASで予約を行った場合

※4 TOS: Terminal Operation System の略

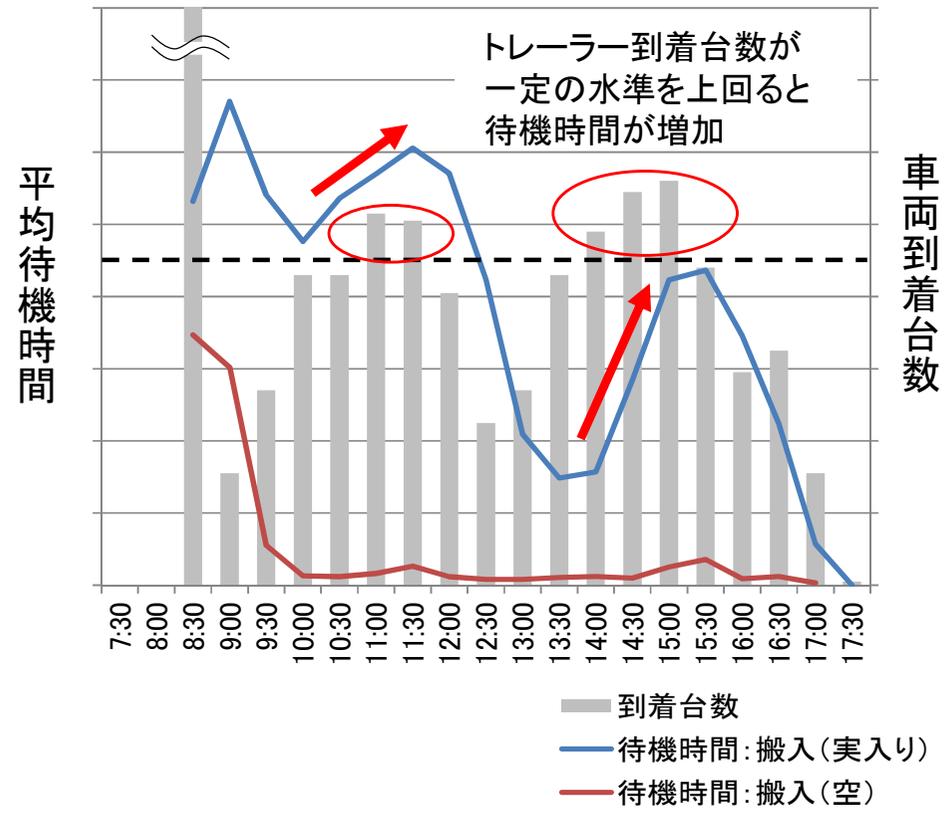
# 搬出入予約制度によるトレーラー到着の分散・平準化のイメージ

- トレーラーの特定時間帯への集中は、コンテナターミナルのゲート前混雑の発生要因の一つ。
- 搬出入予約制度を導入し、特定の時間帯に集中して到着するトレーラーを分散・平準化することで、ゲート前混雑の解消を図る。

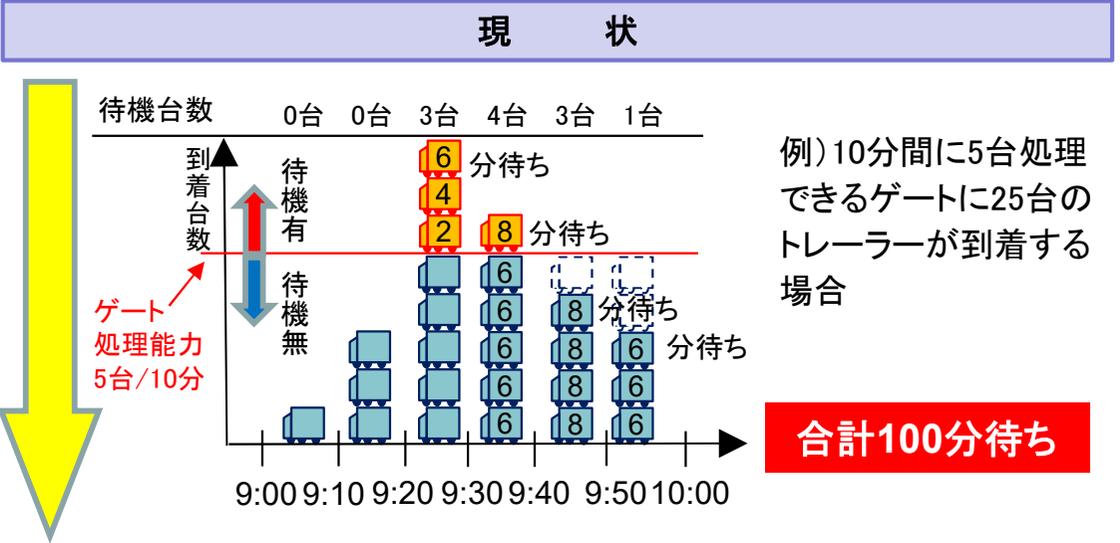
## ゲート前混雑の発生要因

～トレーラーの特定時間帯への集中～  
ターミナルへのトレーラー到着台数が一定の水準を上回ると、トレーラーの待機が発生し、それ以降に到着するトレーラーにも待機が継続して発生する。

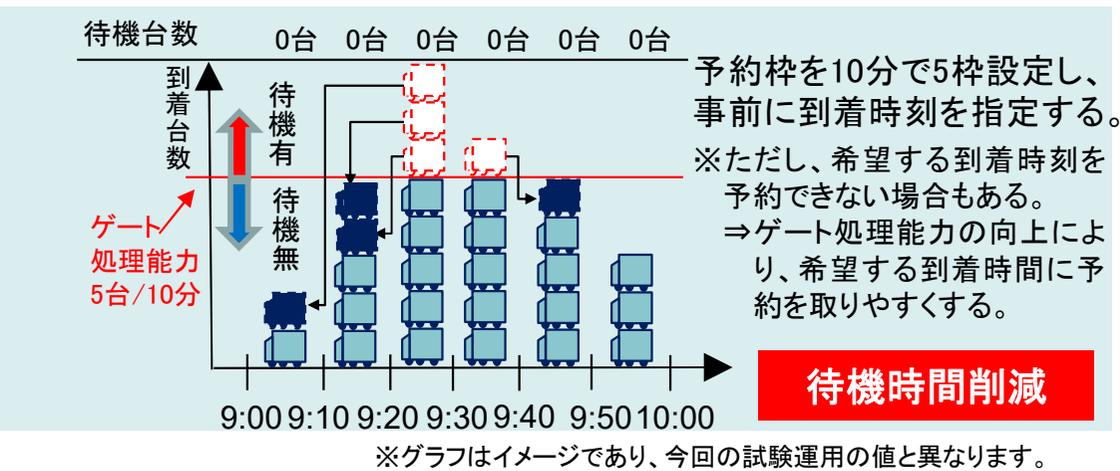
【コンテナターミナルへの時間別到着台数と待機時間の関係のイメージ】



## 搬出入予約制度の導入による混雑解消イメージ



## 搬出入予約制度の導入によりトレーラーの集中を分散・平準化 (Introduction of reservation system to disperse and level trailer arrivals)



# 横浜港におけるCONPAS®試験運用の概要

- 関東地方整備局において、ゲート処理等の効率化、セキュリティの向上等を図るためのシステム「CONPAS※<sup>1</sup>」を開発。
- 2017年度より試験運用を行い、これまでに、搬出/搬入コンテナのゲート入場の事前予約、IC付身分証(PSカード※<sup>2</sup>)による入場、外来トレーラーの接近情報を利用した事前荷役のシステムが完成。
- 2019年2月から3月に、搬入票の電子化に関するシステムの動作確認を実施。4月から5月に、繁忙期における事前予約システムの試験運用、6月から7月に、参加店社を拡大した事前予約システムの試験運用を実施。
- 2019年11月に試験運用実施ターミナル、参加陸運店社等を拡大した試験運用を実施。
- 2020年10月に参加陸運店社を拡大した試験運用を実施。
- 2021年3月に南本牧において、常時運用※<sup>3</sup>を開始。
- 2022年6月に本牧BCにおいて、試験運用を実施。
- 2022年7月に本牧D1において、試験運用を実施。
- 2023年7月に本牧D1・BCにおいて、試験運用を実施。
- 2024年10月に本牧D1・D4・BCにおいて、試験運用を実施。

## 試験運用の経緯

※次頁に各試験運用のイメージを示す。

### 【実施場所】

横浜港南本牧コンテナターミナル(第1回～第8回)、本牧BCコンテナターミナル(第7回～第9回、第11回、第12回)、本牧D1コンテナターミナル(第10回～第12回)、本牧D4コンテナターミナル(第12回)

### 【実施期間】

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回 2018年1～3月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・PSカード入場・事前荷役システムの試験運用</li> </ul> </li> <li>○第2回 2018年8～9月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・PSカード入場・事前荷役システムの試験運用</li> </ul> </li> <li>○第3回 2018年11～12月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約システムの試験運用(搬出コンテナ)</li> </ul> </li> <li>○第4回 2019年2～3月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約システムの試験運用(搬入コンテナ)</li> <li>・搬入票電子化システムの入力端末の動作確認</li> </ul> </li> <li>○第5回 2019年4～5月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁忙期における事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> </ul> </li> <li>○第6回 2019年6月～7月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第7回 2019年11月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験運用実施ターミナル</li> <li>・参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> </ul> </li> <li>○第8回 2020年10月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> </ul> </li> <li>○第9回 2022年6月～7月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化に関する試験運用(実入搬出)</li> </ul> </li> <li>○第10回 2022年7月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> </ul> </li> <li>○第11回 2023年7月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> <li>・事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化に関する試験運用(実入搬出)</li> </ul> </li> <li>○第12回 2024年10月           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</li> <li>・PSカードを活用したゲート手続きの効率化に関する試験運用(搬出・搬入)</li> <li>・事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化に関する試験運用(実入搬出)</li> </ul> </li> </ul> |
|--|---|

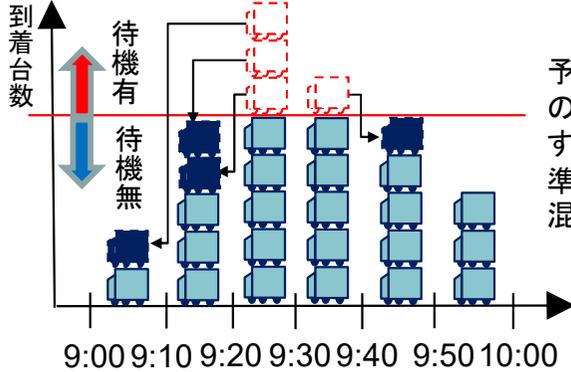
### 【参加者】

南本牧コンテナターミナル、本牧BCコンテナターミナル、本牧D1・D4コンテナターミナル、神奈川県トラック協会海上コンテナ部会

※1 CONPAS: Container Fast Pass の略 ※2 PSカード: Port Security カードの略。港湾の制限区域への人の出入りを確実かつ円滑に管理するために国が発行するICカード  
※3 2021年3月より「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」の常時運用開始、2021年4月より「搬入情報の事前照合機能」の常時運用開始

### 搬出入予約制度の導入によりトレーラーの集中を分散・平準化

待機台数 0台 0台 0台 0台 0台 0台



予約制度を導入し、特定の時間帯に集中して到着するトレーラーを分散・平準化することで、ゲート前混雑の解消を図る。

### CONPAS®※1を活用した搬入票の電子化による搬入ゲート手続きの効率化の概要

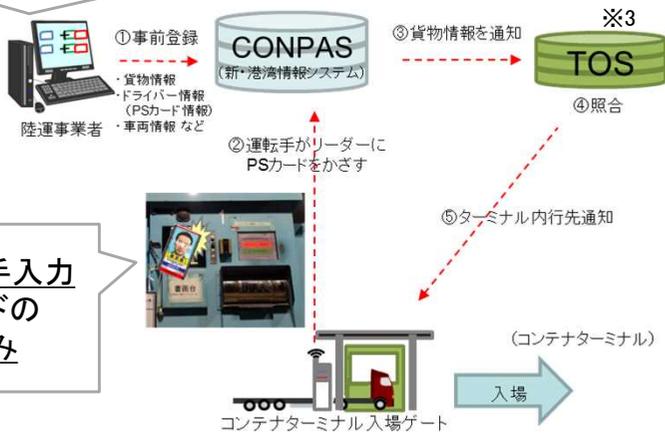
- 搬入票を電子化し、コンテナ到着前に搬入票情報をコンテナターミナルに通知し事前処理することにより、ゲート処理時間を短縮。
- ※試験運用では、搬入票電子化入力端末の動作確認を実施。



### PSカードを活用した搬出・搬入ゲート手続きの効率化の概要

- ドライバー情報(PSカード※2情報)を活用し、セキュリティを確保しつつドライバーの誤入力を防止、ゲート処理時間を短縮。

#### 入場時間の予約を行って並ぶことなく入場

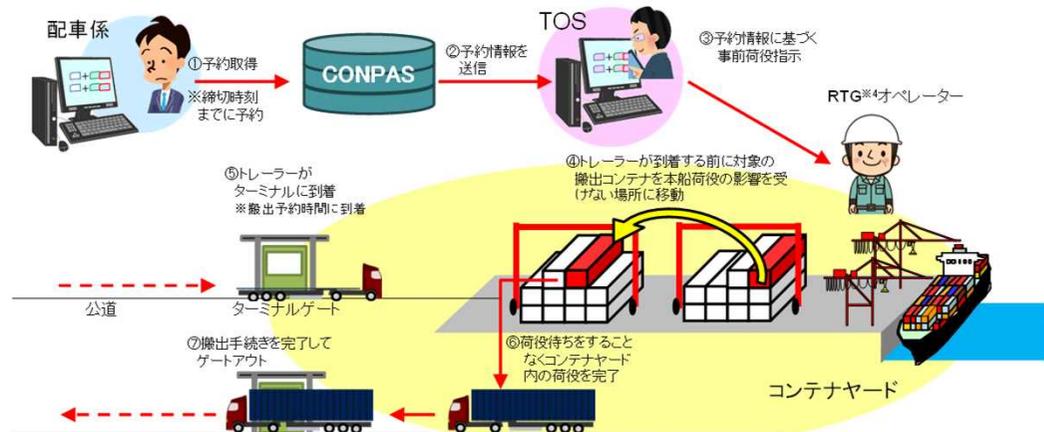


貨物情報の手入力  
→PSカードの  
タッチのみ

### CONPAS®を活用した事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化の概要

- CONPAS®に登録された予約情報を利用して、トレーラーがコンテナを引き取りに来場する前に、搬出対象のコンテナを本船荷役の影響等を受けない場所に移動。
- 本船荷役の影響や不要な荷繰りを回避することで、コンテナの円滑な引取りが可能となり、コンテナヤード内のトレーラー滞留時間の短縮を実現。

◆コンテナヤード内の荷役効率化イメージ(実入り搬出)



※1 CONPAS: Container Fast Pass の略

※2 PSカード: Port Security カードの略。港湾の制限区域への人の出入りを確実かつ円滑に管理するために国が発行するICカード

※3 TOS: Terminal Operation System の略

※4 RTG: Rubber Tired Gantry craneの略。RTGはコンテナターミナルにおける荷役機械の一つで、コンテナヤード内のコンテナを運搬するときに使われる門型のクレーン